

取扱説明書

リモート コントローラー
(マルチビューワ DMV-900 専用)

RMC-900 NTSC



- リモート コントローラー RMC-900 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意




ご使用前にかならず「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
























■絵表示について






この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく確認してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例


	△記号は注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

 警告	
●本機のケース・裏パネル等をはずさない！ 内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。 ・改造などは絶対におこなわないでください。 ・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。	 
●本機を濡らさない！ 火災・感電の原因となります。 ・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。 ・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。 ・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	   
●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！ 万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない！ 感電の原因となることがあります。	
●電源プラグやコンセントにほりなどを付着させない！ ほりによりショートや発熱が起って火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。	
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 かならずプラグを持って抜いてください。	
●雷が鳴り出したら使わない！ 電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。	
●アース線を接地する 感電を避けるためにかならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因となります。	
●電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！ 火災・感電の原因となります。	
●煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。	 
●本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 販売店に修理をご依頼ください。	 
●移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。	 
●長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！ 火災の原因となることがあります。	 

 注意	
●本機の上にものを置かない！ バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。	
●コード類は正しく配線する！ ・電源コードを熱器具に近づけないでください。 ・電源コードを本機の下敷きにしなしないでください。 ・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。	
●設置場所にご注意ください！ ・不安定な場所に置かないでください。 ・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。 ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。 ・冷庫倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。 ・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。 ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたる場所には置かないでください。	
●本機の通風孔をふさがらない！ 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 壁から10cm以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。 ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。 ・風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・じゅうたんや布団の上に置く。 ・テーブルクロスなどをかける。	

■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。

 注意	
●電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。	
●内部の掃除について 内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったらま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。	
●電源プラグの掃除をしてください 電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。	
●カバーは乾いた布で拭いてください 汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。 このとき、液が内部に入らないように注意してください。 ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。	

目 次

特長	2
各部の名称とはたらき	3
■背面図	3
■上面図	3
システムの種類	4
RS-232C のシステム例【1台：1台】	5
■接続例	5
■準備	5
ピン アサイン	6
■RS-232C	6
■RS-485	6
DMV-900 複数台のシステム例 RS-485【1台：N台】	6
■接続例	6
■準備	6

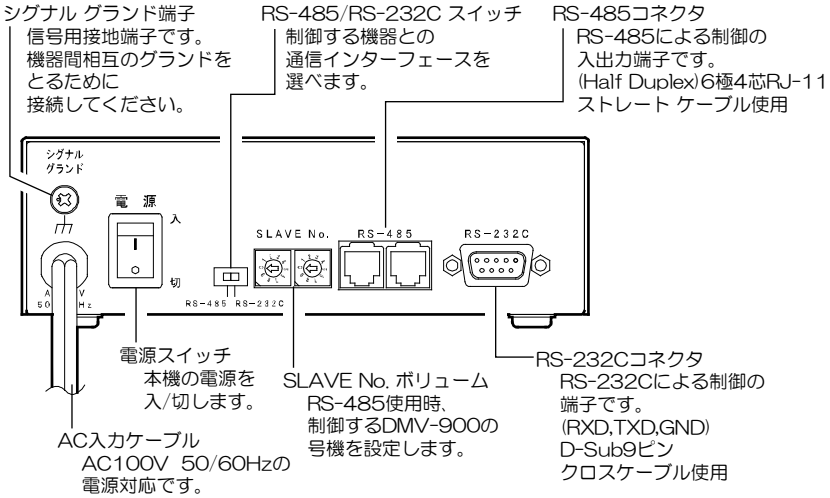
RMC-900 複数台のシステム例 RS-485【N台：1台】	7
■接続例	7
■準備	7
操作方法	7
■電源立上げ	7
■RS-485/RS-232C スイッチ	7
■SLAVE No.ポリウム	7
■各種ボタンの操作	8
■エラーの検出	8
■メニューの操作	8
製品仕様	8
修理を依頼されるときは…	8
品質保証規定	8
おことわり	8

特 長

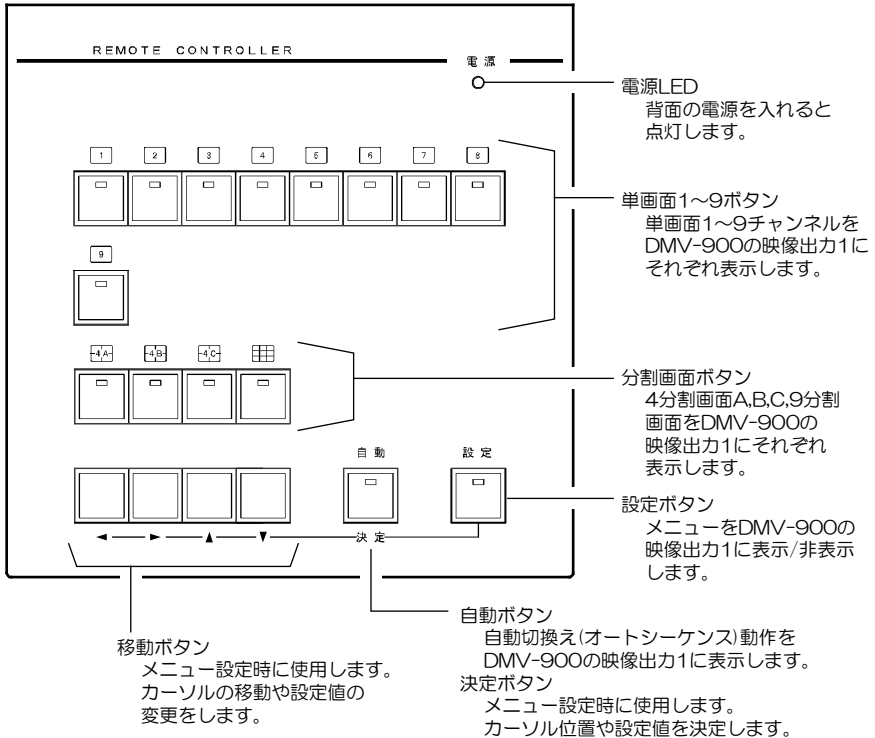
- 本機は、9チャンネル マルチビューワ DMV-900 専用のリモート コントローラーです。
- DMV-900 との通信は RS-232C または RS-485 をスイッチで選択できます。
- RS-485 を使用時は、32 台までの DMV-900 を本機 1 台で制御できます。
- RS-485 を使用時は、32 台までの本機で 1 台の DMV-900 を制御できます。

各部の名称とはたらき

■背面図



■上面図

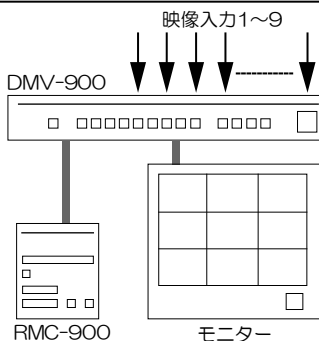


システムの種類

本機は RS-232C 通信または RS-485 通信により様々な使用方法があります。
 使用目的に合わせてシステムを構築し、効果的にご利用いただけます。
 ※RS-232C と RS-485 の同時使用はできません。

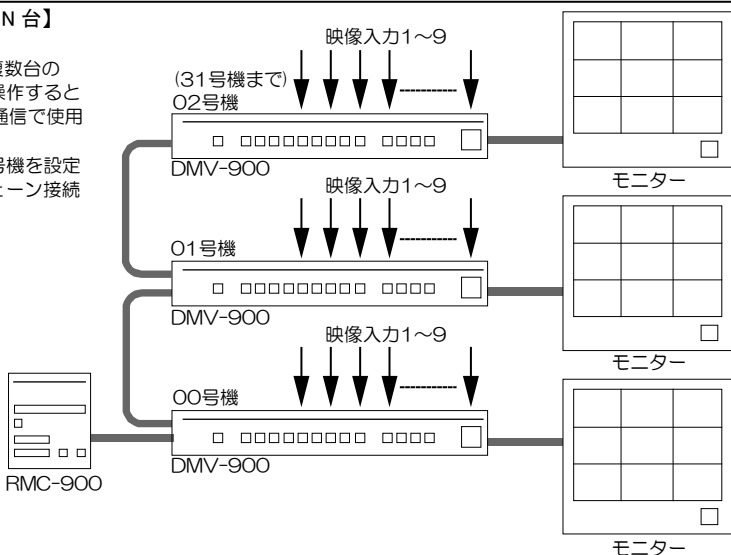
①RS-232C 【1台:1台】

RMC-900 と DMV-900 が 1 台ずつの場合は、
 RS-232C 通信が適しています。
 5 ページ～



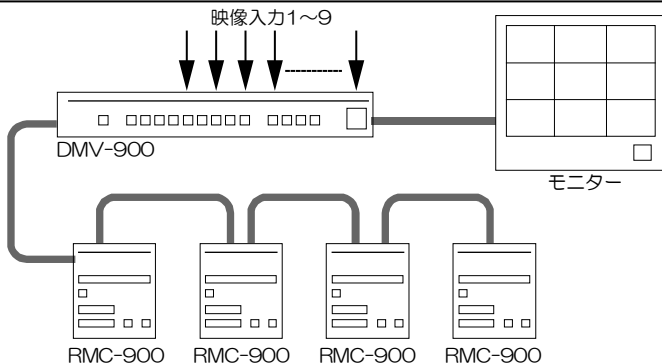
②RS-485 【1台:N台】

RMC-900 で複数台の
 DMV-900 を操作する
 ときは RS-485 通信で使
 用してください。
 DMV-900 は号機を設定
 し、デジチェーン接続
 します。
 6 ページ～



③RS-485 【N台:1台】

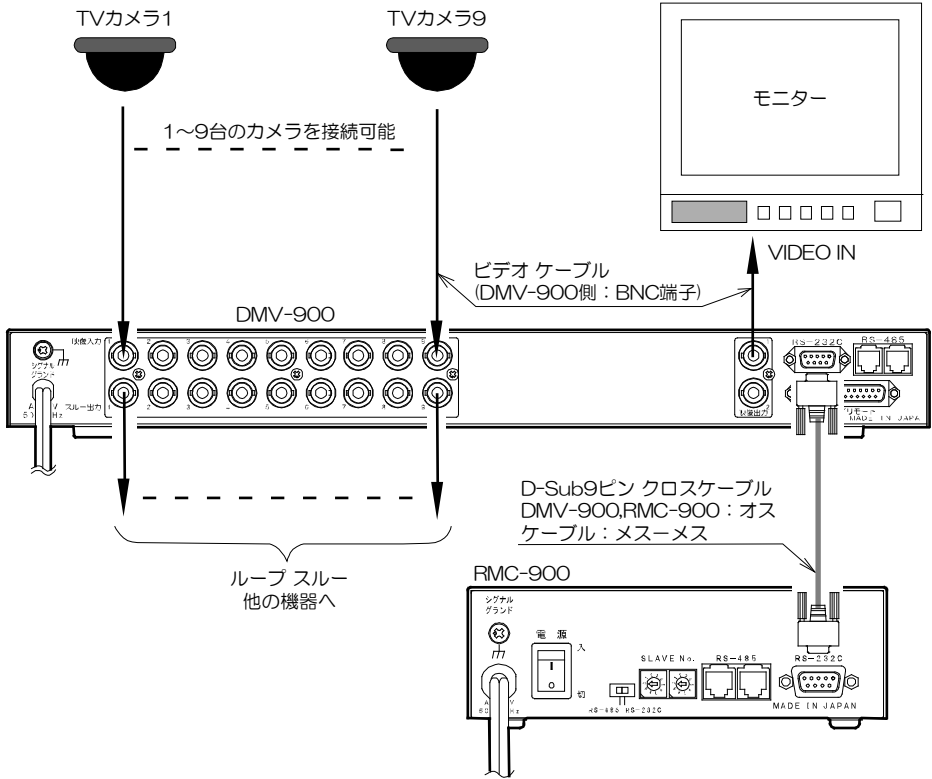
複数台の RMC-900 で
 1 台の DMV-900 を操
 作するときは RS-485
 通信で使用してくださ
 い。
 RMC-900 はデジ
 チェーン接続します。
 7 ページ～



RS-232Cのシステム例【1台:1台】

■接続例

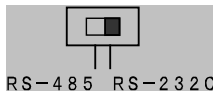
- 注意**
- 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 各映像入出力端子には電圧を加えないでください。



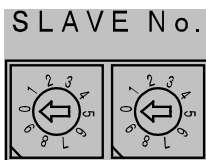
■準備

①DMV-900 とリモート コントローラーの電源スイッチを入れます。

②リモート コントローラーの RS-485/RS-232C スイッチは RS-232C 側へたおしてください。



③リモート コントローラーの SLAVE No. ボリュームは、左右とも“0”の位置としてください。



④DMV-900 本体のフロント ボタンでモニターにメニューを表示させ、“6.COMMUNICATION”内の“1.SLAVE ADDRESS”の値を“00”に設定してください。(工場出荷時設定)
2~5の値は下図のとおり設定してください。

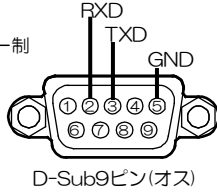
COMMUNICATION	
▷1. SLAVE ADDRESS	00
2. DATA RATE	9600bps
3. PARITY	EVEN
4. STOP BIT	1
5. DATA LENGTH	8
6. ESCAPE	

注意 メニューの“6.COMMUNICATION”の設定にはリモート コントローラーは使えません。

ピン アサイン

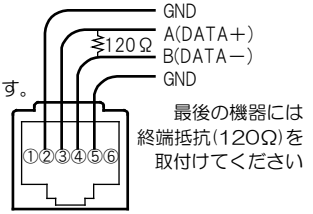
■RS-232C

RS-232Cは三線式 (RXD, TXD, GND) で、フロー制御をしません。



■RS-485

RS-485は半二重通信 (Half Duplex) です。

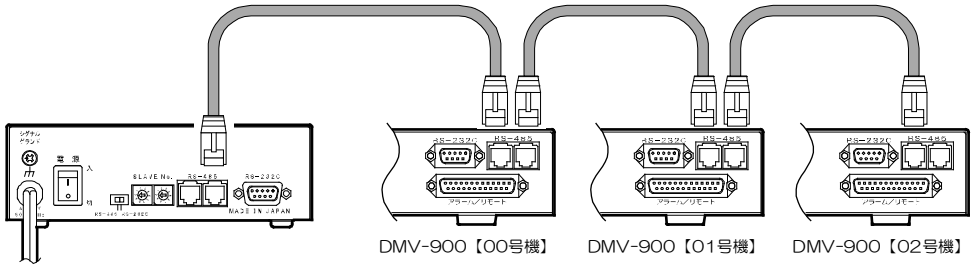


DMV-900複数台のシステム例 RS-485【1台:N台】

■接続例

- 注意**
- 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 本体の各映像入出力端子には電圧を加えないでください。

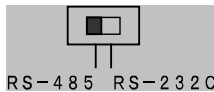
※DMV-900は31号機まで接続できます。
※モジュラーケーブルは最長1.2kmまで制御できます。



■準備

①DMV-900とリモートコントローラーの電源スイッチを入れます。

②リモートコントローラーのRS-485/RS-232CスイッチはRS-485側へたおしてください。



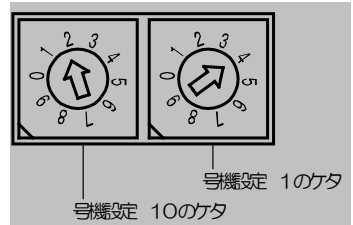
③DMV-900本体をそれぞれ号機設定します。各DMV-900のフロントボタンでモニターにメニューを表示させ、“6.COMMUNICATION”内の“1.SLAVE ADDRESS”の値を設定してください。(00~31) 2~5の値は下図のとおり設定してください。

COMMUNICATION

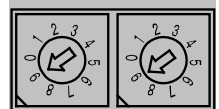
- ▷1. SLAVE ADDRESS--31
- 2. DATA RATE----- 9600bps
- 3. PARITY-----HEX
- 4. STOP BIT-----1
- 5. DATA LENGTH-----8
- 6. ESCAPE

注意 メニューの“6.COMMUNICATION”の設定にはリモートコントローラーは使えません。

④リモートコントローラーのSLAVE No.ボリュームで操作する号機を設定してください。(00~31)



すべての号機を一齐に同じ操作をする場合は“99”を設定します。



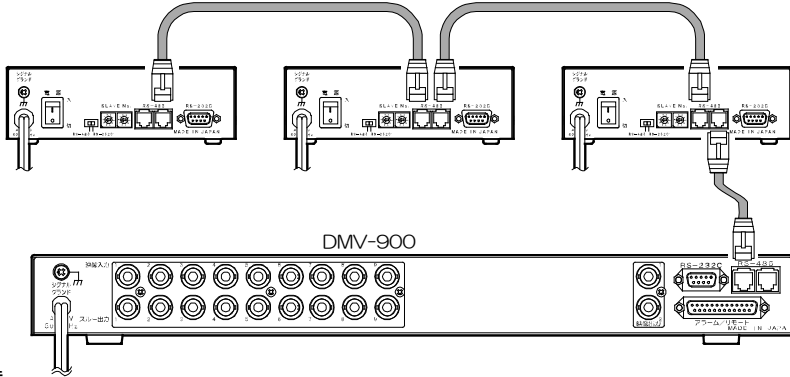
注意 一齐に操作する場合は、メニュー操作はできません。

RMC-900複数台のシステム例 RS-485【N台:1台】

■接続例

- 注意**
- 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 本体の各映像入出力端子には電圧を加えないでください。

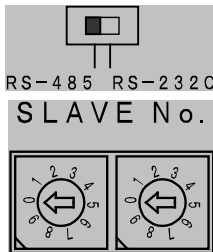
※RMC-900 は 32 台まで接続できます。
 ※モジュラー ケーブルは最長 1.2km まで制御できます。



■準備

①DMV-900 とリモート コントローラーの電源スイッチを入れます。

②リモート コントローラーの RS-485/RS-232C スイッチは RS-485 側へたおしてください。



③リモート コントローラーの SLAVE No. ボリュームは、左右とも“0”の位置としてください。

④DMV-900 本体のフロント ボタンでモニターにメニューを表示させ、“6.COMMUNICATION”内の“1.SLAVE ADDRESS”の値を“00”に設定してください。(工場出荷時設定)
 2~5の値は下図のとおり設定してください。

COMMUNICATION

1. SLAVE ADDRESS---00
2. DATA RATE----- 9600bps
3. PARITY-----EVEN
4. STOP BIT-----1
5. DATA LENGTH-----8
6. ESCAPE

- 注意**
- メニューの“6.COMMUNICATION”の設定にはリモート コントローラーは使えません。
 - 各 RMC-900 から同時に操作することはできません。信号が重ならないように注意してください。

操作方法

■電源 ON/OFF

- 各種機器が正しく接続されているか確認してください。
- AC 電源ケーブルをコンセントに接続したあとで、機器背面の電源スイッチを ON にしてください。
- 電源を ON/OFF すると機器上面の緑色 LED が点灯/消灯します。



■RS-485/RS-232C スイッチ
 DMV-900 との通信インターフェイスを選択します。

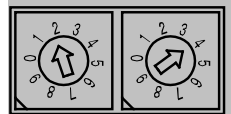


■SLAVE No.ボリューム

RS-485 で通信するとき、操作したい DMV-900 の号機(00~31)を設定します。

右図は 24 号機の設定例です。

複数台の DMV-900 を一斉操作する場合は、“99”に設定します。



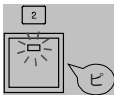
- 注意** 一斉に操作する場合は、メニュー操作はできません。

操作方法

■各種ボタンの操作

上面の各種ボタンの機能は、DMV-900 本体のフロントボタンと同じです。

ボタンを押して本体で信号が正しく受信されると、アンサーバックによってボタンの LED が点灯し、ブザーが 1 回鳴ります。



- 注意**
- RS-485 にて一斉に操作する場合は、メニューの操作はできません。
 - DMV-900 のフロント ボタンや背面端子などで操作した場合は、RMC-900 の LED 点灯には反映されません。

■エラーの検出

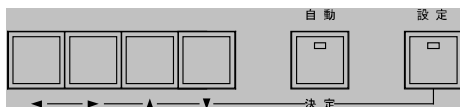
ボタンを押した信号が DMV-900 で正しく受信できなかった場合は、エラーとなりブザーが鳴り続けます。ブザーを解除するには、いずれかのボタンを押します。



- 注意** RS-485 にて一斉に操作する場合は、アンサーバックがなくエラーのブザーは鳴りません。

■メニューの操作

設定ボタンを押すと、DMV-900 の映像出力 1 よりメニューが表示されます。移動ボタンや決定ボタンの操作は DMV-900 フロント ボタンと同じです。



- 注意**
- RS-485 にて一斉に操作する場合は、メニューの操作はできません。
 - メニューの“6.COMMUNICATION”の設定はできません。

製品仕様

- RS-232C 1 系統 三線式(RXD, TXD, GND) D-Sub9 ピン(オス)
- RS-485 1 系統 半二重通信(Half Duplex) 6 極 4 芯(RJ-11)×2(ループスルー)
- 通信設定 RS-485/RS-232C スイッチ
- 号機設定 SLAVE No.ポリウム×2
- 電源電圧 AC100V±10% 50/60Hz 約 3.0W
- 外形寸法 160(W)×160(D)×50(H)(突起部除く)
- 質量 約 0.5kg
- 別売品 壁掛けブラケット RMC-WB1

※仕様および外觀は、改良その他の理由により、予告なく変更する場合がございます。

※本機は日本国内のみの使用に基づいて設計・製造されています。

修理を依頼されるときは...

- 本機が正常に動作しないときは「接続例」をもう一度ご覧いただき、環境および動作をご確認ください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 修理をお申し付けいただくときは、品名と症状を詳細にお知らせください。

品名: リモート コントローラー RMC-900

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より 1 年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書

品名: RMC-900	
本体裏シールの SER.No. (製造番号) をご記入ください	
No.	
お客様名: _____ 様	
ご住所 〒 _____	
TEL: _____	
取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間	お買い上げ日
	年 月 日より <input type="text" value="1年間"/>

Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1

営業部ダイヤルイン 042(742)2110

F A X 042(742)3631

E - M A I L info@n-artics.co.jp

U R L http://www.n-artics.co.jp

発行: 2013.03.06